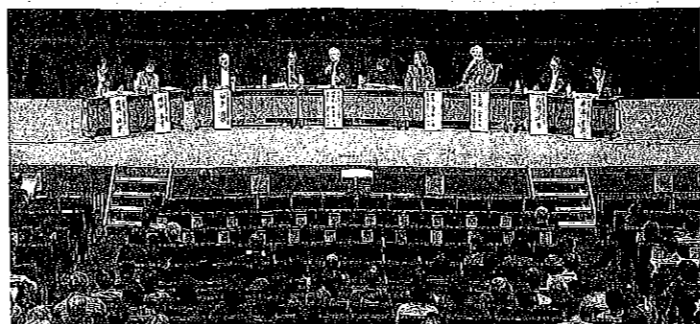


シンポジウム「認知症に優しいまち」

認知症になっても住み慣れた地域で暮らせる街づくりを考
えるシンポジウム「共に生きる 認知症に優しいまち」を目指
して」(社会福祉法人京悠会主催、読売新聞社など後援)が
10月19日、埼玉県飯能市で開かれた。ベルギーから来日した
支援団体の代表と認知症の家族らが現地での取り組みを紹介
し、「支援があれば自宅暮らしが可能な」と訴えた。
日本の課題も議論された。
(樋口郁子)

社会保障 安心

* 次回の社会保障面は12月8日掲載予定です。



大勢の市民が詰めかけたシン
ポジウム(10月19日、埼玉県
飯能市)。(林陽一撮影)

患者と家族 地域で見守る

「認知症の人の家族は、重い
スーツケースを運んでいるよう
なもの。中身を捨てたいとは思
わないが、大変な時には助けが
欲しい」。ベルギーの古都、ブ
ルーシユ市近郊で、認知症の夫
ニコ・ピンズさん(60)を自宅で
介護するエレナさん(62)はこの
白、約9000人の聴衆にそう語
り、家族への支援を訴えた。
人口約12万人の同市では20
10年から「NPO(ノンプロ
フィット)を中心とし、「認知症に優
しい街」の運動を進めている。エ
レナさんは、数年前に認知症と
診断されたニコさんを連れ、同
NPOが運営する家族の交流拠
点「フォトンハウス」に通った。
するとうつ状態だったニコさん
も明るさを取り戻したという。
この日はニコさんも車いすで登
壇。得意の口笛で「上を向いて
歩こう」などの曲を披露し、大
きな拍手を浴びた。



ベルギーの取り組み

同NPOの特徴は、認知症専
門カウンセラーの存在だ。看護
師や社会福祉士の有資格者が定
期的に家庭訪問し、当事者や家
族のケアを担当する。代表のパ
ルト・デルトゥールさん(56)は

専門家が定期的にケア

「情報提供に終わらず、家族が
抱える複雑な問題にも助言を行
う。認知症で家族関係が悪化す
るのを防いでいる」と話した。
徘徊対策にも取り組む。家族
が事前に、認知症の人の情報を
記したファイルを用意。行方不
明の際は、警察や関係機関につ
きな拍手を浴びた。

厚生労働省や飯能市の担当
者、日本のNPO関係者も参加
したパネルディスカッションで
は、日本の現状や課題も議論さ
れた。

05年からは養成講座を受け、
本人や家族を支援する「認知症
サポーター」制度も始まり、5
40万人が受講。デルトゥール
さんは「日本のサポーターは大
勢いてうれしく思う。彼らを通
じ、社会全体が理解を深めるこ
とができればいい」と話した。

認知症の介護で最も重要な
のは、当事者を人として尊重
し、自然に接することだ。そ
うすれば、認知症の人も安心
して穏やかに生活できる。そ
のためには、多くの人が理解
を深め、病気の悪いイメージ
をなくすことが必要だ。我
々は独自の教材で、学生や介
護職への研修を行っている。
約350人の市民ボランティア
も養成し、認知症の人の



NPO代表 ハルト・デルトゥールさん
350人の市民ボランティア養成

見守り役として、家族の外出
時などに派遣。フォトンハウ
スもボランティアが運営し、
季節の行事などを行う。これ
らはほぼ無料で利用できる。
認知症専門カウンセラー
は、本人や家族に、いつ、ど
んな問題が起るか予測し、適

切なタイミングで助言する。
彼らの訪問で施設入所は遅く
なり、入院が減り、医療費が
削減されるなど、大きな投資
効果がある。ブルーシユ市で
は、認知症の人約2000人
に対し、カウンセラーは4人
で対応に増やす必要がある。
課題は財源。地方政府の補
助金で運営しているが、いつ
削減されるかわからず、スポ
ンサー探しに追われている。

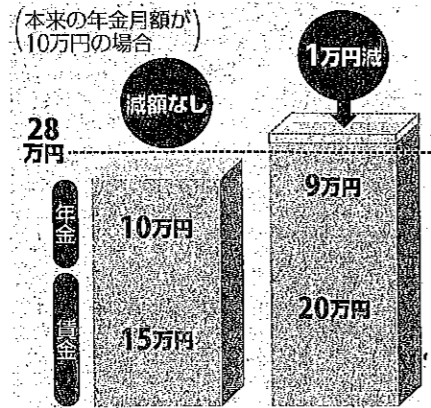
収入に応じて減額

年金が減額されます。「在職
老齢年金」という制度です。
減額されるのは、「年金は
本来、引退して収入がなくな
ったときの生活の支え」とい
う考え方があったためです。引
退後も、「収入も多い」「年
金も多い」では、制度を支え
る現役世代の不満が高まっ
てしまふ恐れもあります。

60歳以降も会社に勤めると?

年金減額の仕組み

65歳未満= 賞金と年金の合計が28万円を
超えると、超過分の半額を減額



65歳以上= 賞金と年金の合計が46万円を
超えると、超過分の半額を減額

とはいえず、きちんと保険料
を納めてきたのに、年金をま
たくもらえないとなると、
不満がたまりかねてしまいま
す。少子高齢化が進む中、で
るだけ多くの高齢者に社会
を支え手に回ってほしいとい
う考えが根拠になっています。こ
れは逆効果になりかねませ
ぬ。こうした事情を勘案し、
引退するときに年金をどれ
だけ支給するかを調整する仕
組みが、この制度です。

65歳以上は、もう少し緩や
かな減額となります。賞金と
年金の合計が46万円(14年度)
を上回る人が対象となりま
す。やはり超過分の半額が差
し引かれます。
なお、減額されるのは厚生
年金で、基礎年金は受け取れ
ます。パートなどで厚生年金
に加入しないで働いている場
合は、対象外です。詳しいこ
とは、年金事務所に聞いてみ
てください。

これまでの分は、ヨミウリ・オンラインの「ジョブサーチ」(h
ttp://www.yomiuri.co.jp/job/middle/nenkin/)で見られます。

「都市圏のがん診
断」
都市圏での地域がん診療
を担う人材の育成に連携し
て取り組む都内の4大学が
12月20日、合同の市民公開
シンポジウムを開く。会場
は東京都板橋区の帝京大板
橋キャンパス。
4大学は同大と杏林大、
東京女子医科大、豊沢大。
第一部では、乳がんを経験
した歌手のアグネス・チャ
ンさんが「明るくさわやか
に生きる」メッセージを見つ
めたい
講演
授けら
の病
マニ
午
加
同12
がき
申し
帝京
03・
内蔵

お便りをお寄せください。
〒100-8055 読売新聞東
京本社・社会保障部 フランス
03-3217-6957、EM
ail: ranshin@yomiuri.com